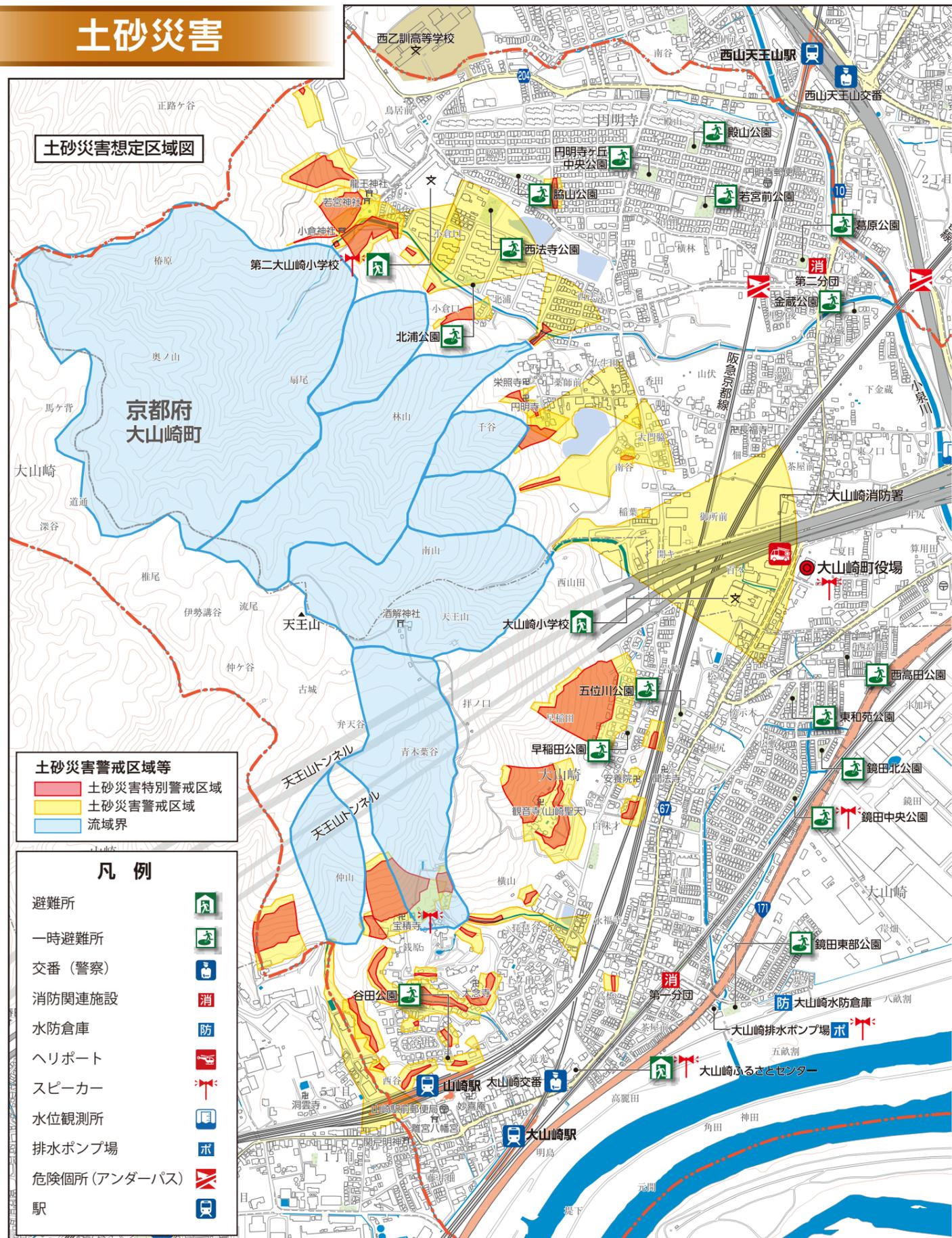


# 土砂災害



## 土砂災害から命を守るための3つのポイント

### 1 普段から土砂災害の危険性がある場所を把握する

急傾斜地や渓流の付近など、土砂災害によって命が脅かされる危険性が認められる場所は、都道府県が土砂災害警戒区域等に指定しています。ハザードマップを確認して、お住まいの場所が土砂災害警戒区域等に当たるかどうか、あらかじめ確認しましょう。

### 2 雨が降り出したら警報、避難情報に留意する

雨が降り出したら、大雨注意報、大雨警報、土砂災害警戒情報等の発表状況に留意し、特に町が発表する避難情報等を確実に把握しましょう。（情報の取得方法はP8～P9へ）

### 3 避難情報が発令されたら早めに避難する

土砂災害警戒区域等にお住まいの方は早めの避難が重要です。高齢者等の方は避難準備・高齢者等避難開始が発令された時点で、一般の方は避難勧告が発令された時点で、土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所へ速やかに避難しましょう。

## 土砂災害（特別）警戒区域等とは

土砂災害（がけ崩れ・土石流・地すべり）から住民の生命を守るため、土砂災害が発生するおそれがある区域を、都道府県知事から土砂災害警戒区域（特別警戒区域）として指定しています。

### 土砂災害警戒区域

土砂災害のおそれがある区域

### 土砂災害特別警戒区域

建物が破壊され、大きな被害が生じるおそれがある区域

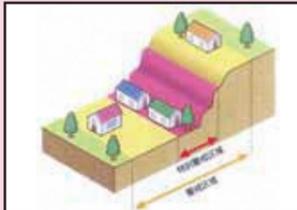
#### 土砂災害警戒区域のうち

土砂災害特別警戒区域に指定されると、

- ① 建築物が安全であるか建築確認がされます。
- ② 住宅分譲や災害時要援護者関連施設の建築を行う場合は開発許可が必要になります。
- ③ 著しい被害が生じるおそれがある建築物には、移転が勧告されます。

※土砂災害（特別）警戒区域は一定の条件に基づいて、指定されていますが、指定外の地域で土砂災害が発生した事例もありますので、斜面近くにお住まいの方も十分注意してください。

## 土砂災害の特徴と注意点

土砂災害の種類	がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）	土石流	地すべり
	<p>地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちます。がけ崩れは、突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く死者の割合も高くなっています。</p> 	<p>山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20～40kmという速度で一瞬のうちに住宅などを壊滅させてしまいます。</p> 	<p>斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動します。一般的に移動土壌量が大さいため、甚大な被害を及ぼします。また、一旦動き出すと完全に停止させることは非常に困難です。</p> 
前兆傾向 要注意箇所	<p>がけに割れ目が見える。 がけから水がわき出ている。 がけから小石がばらばらと落ちてくる。</p>	<p>急に川の流れが濁り流木が混ざっている。 山鳴りがする。 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。</p>	<p>沢や井戸の水が濁る。 地面にひび割れができる。 斜面から水がふき出す。</p>

（京都府ホームページより引用）